

展覧会コンセプト

頭の中のイメージ、描く線の反復により形ができた作品、キャラクター、人物を描いたもの、スマートフォンで撮っている写真を家庭用プリンターで印刷した作品がある。日常的に絵を描いたり、物を作ったりすることは好きで、その行為は現在も続いている。日常会話を楽しむ様に鑑賞していただけたら幸いです。

アーティスト・ステイトメント

抽象的なドローイングに関しては、無意識と意識の間・線の反復をコンセプトとし、自分の内面を視覚で確認すること、鬱屈した感情を昇華することを目的として描いている。キャラクターや人物を描いたドローイングに関しては、1990年代～2000年代初めのファッション雑誌、1980年代終わり～1990年代のアニメ・漫画などの影響がある。

経歴

作家名：ひるねねるひ

1985年生まれ

2008年 京都造形芸術大学（現 京都芸術大学） 情報デザイン学科 卒業

大学卒業後、福祉施設で事務、製品の販売などの仕事を経て
食品などを取り扱う会社のカタログデザインの仕事に携わる。
その後、商業ギャラリー、レンタルギャラリーの仕事に携わる。

2022年4月 ARTSPACE ごろごろをオープン。

2022年11月 個展『実験的ドローイング』ARTSPACE ごろごろ（京都）

現在、ARTSPACE ごろごろの運営の傍ら、作品を制作している。